

イオン薬局約300店舗で大腸がん検診啓発イベントを実施

クイズラリー形式で学ぶ、5分でわかる大腸がん検診

“いつもの”薬局で正しい知識で大腸がんに備えよう

NPO法人ブレイブサークル運営委員会は(東京都新宿区)、2026年2月8日(日)に、イオンリテール株式会社が展開するイオン薬局(北海道・東北・九州・沖縄を除く)289店舗において、NPO法人ブレイブサークル運営委員会の支援のもと、**大腸がん検診の啓発イベント**を実施します。

本イベントは、店舗に来店されたお客様を対象に、**クイズラリー形式**で大腸がん検診について楽しく学んでいただく取り組みです。予約不要、参加費は無料です。

店内に掲示されたポスターを読みながら、簡単なクイズに解答していただき、参加者には景品をお渡しします。所要時間は約5分で、買い物や処方待ちの合間にも気軽に参加できます。

大腸がんは早期発見・早期治療で92%※1以上の方が助かると言われていています。しかし現状では、がん罹患数では第1位、がん死亡原因では、女性1位、男性第2位※1となっています。早期発見のためには40歳以上は年1回の大腸がん検診(便潜血検査)の受診が推奨されていますが、受診率は男性49.1%、女性42.8%※2でいずれも60%を下回っています。特に精密検査(大腸内視鏡検査)は、痔だろう、怖い、恥ずかしい、忙しいなどを理由に未受診の人がまだまだ多くの早期発見の遅れが懸念されています。 ※1 国立がん研究センターがん情報サービス「がん診療連携拠点病院等院内登録生存率集計」 ※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計) ※3 2022年国民生活基礎調査より

“いつもの”薬局で、家族みんなで大腸がんを考えるきっかけに

大腸がんは、日本において罹患数・死亡数ともに多いがんである一方、便潜血検査による早期発見が可能であり、定期的な検診受診が重要とされています。

しかし、各市区町村が実施する大腸がん検診の受診率は、依然として十分とは言えない状況です。

地域に密着した薬局は、住民が日常的に立ち寄る身近な場所であり、健康情報を伝える拠点として大きな役割を担っています。本イベントでは、薬局という生活動線上の場を活用し、**検診の重要性を「知るきっかけづくり」**を目的としています。

各市区町村では、令和8年度(2026年度)も大腸がん検診を実施予定です。本イベントを通じて、検診に対する理解と関心を高め、実際の受診行動につなげることを目指します。

今後継続して地域でのがん検診受診率向上に貢献していきます。



大腸がんクイズラリーに挑戦する参加者の様子

開催概要

- 開催日 : 2026年2月8日(日) ※時間は店舗により異なります
- 会場 : イオン薬局 289店舗 (北海道・東北・九州・沖縄を除く)
- 参加費 : 無 料
- 内容 : 大腸がん検診に関するクイズラリー(店内ポスターを読みながらクイズに解答)
参加者へ「大腸がん撲滅トイレットペーパー」をプレゼント
未受診者を対象とした簡単なアンケート(「今後、大腸がん検診を受けようと思うか」等)

【本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先】 NPO法人ブレイブサークル運営委員会／広報担当: 山田、小林

TEL: 03-6908-9160 FAX: 03-6908-9150 携帯: 080-7526-1487(山田)

E-mail: info@bravecircle.net http://bravecircle.net

大腸がんクイズラリー・大腸がん撲滅トイレ紙について

■大腸がんクイズラリー

NPO法人ブレイブサークル運営委員会が無償提供する大腸がん検診啓発資材です。

大腸がんの現状や大腸がん検診・精密検査について解説した4枚のポスターを見て、5問の簡単なクイズに答えることで、大腸がん検診・精密検査受診の大切さを理解する仕組みになっており、毎年多数の自治体・企業等の健康イベントなどで活用されています。解答用紙には参加者の受診状況や検診に対する思いなどを話すきっかけとなるアンケートが記載されており、受診勧奨ができるようになっています。

<4枚のポスター(A2サイズ)/問題のヒントあり>

1 増えている大腸がん

Q1. 大腸がんは増えているの？
男女共に40歳ごろからかかる人が増えてきます。

また、2023年には全国で5万人以上が大腸がんによって亡くなり、女性のがん死亡原因の1位、男性では2位です。

Q2. 大腸がんになりやすいリスクは？
大腸がんは、高齢化に加え、肥満、飲酒、喫煙、運動不足などにより発生する危険性が高まります。

Q3. 症状が無いから大丈夫だね？
いいえ、思ったこと大腸がんの症状はほとんど自覚症状がほとんどないです。

大腸がん検診は40歳以上の人が1年に1回、便潜血検査を受ける。

2 大腸がん検診

検診は、気になる症状がない健康な皆さんが対象です。

大腸がん検診は「便潜血検査」です。自宅で便の表面をこすり取るだけの簡単な検査で、痛みも食事制限もありません。2日分の便をとり、指定の窓口へ提出します。

Q4. 大腸がんが早期に発見されると、治療が楽になります。

大腸がんが早期に発見されると、治療が楽になります。早期発見・早期治療で、大腸がんのリスクを減らすことができます。

1年に1回の便潜血検査。大腸がん検診は、大腸がんのリスクを減らすことができます。

<解答用紙(B5)/アンケート付>

大腸がん検診アンケート

1. 大腸がんは、得意でいられるからかかると思っていますか？
① 大腸がんは、得意でいられるからかかると思っています。 ② 大腸がんは、得意でいられるからかかると思っています。

2. 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？
① 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？ ② 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？

3. 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？
① 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？ ② 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？

4. 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？
① 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？ ② 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？

5. 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？
① 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？ ② 大腸がんの症状は、どんな症状が思い浮かびますか？

<表>

がんの予防

5つの健康的な生活習慣

1. たばこを吸わない
2. お酒を大量に飲まない
3. 食生活を改善する
4. 運動に励む
5. 検診を受ける

がんの予防には、5つの健康的な生活習慣が大切です。

<裏>

3 大腸の精密検査

Q5. 便潜血検査の結果が「陽性反応」や「陽性（+）」になったら、必ず精密検査を受けましょう。

精密検査には「全大腸内視鏡検査」を行います。検査前に1〜2リットルの水の洗浄液を飲んで、大腸内をキレイにし、肛門から内視鏡を入れて、腸内に異常がないか詳しく検査します。

大腸内視鏡検査のイメージ

大腸内視鏡検査は、大腸がんの早期発見・早期治療に役立ちます。

4 がんの予防

がんは、自分で予防できるの？

がんにかかる原因は「生活習慣」「遺伝」「ウイルス感染」などがあり、それらが重なると、がんになるリスクが高まります。

がん予防には、5つの健康的な生活習慣が大切です。

1. たばこを吸わない
2. お酒を大量に飲まない
3. 食生活を改善する
4. 運動に励む
5. 検診を受ける

がんの予防には、5つの健康的な生活習慣が大切です。

■大腸がん撲滅トイレ紙

NPO法人ブレイブサークル運営委員会が制作する有償の啓発資材です。

大腸がんの現状や大腸がん検診に関する説明を、イラスト入りでロール面に記載されています。大腸がん撲滅トイレ紙をトイレに設置して、トイレを利用した大腸がん検診の普及啓発に活用いただいたり、健康系のイベント等で配布し、持ち帰った市民の皆さんが家族で大腸がん検診についてトイレで学んでいただける資材です。

NPO法人ブレイブサークル運営委員会とは

大腸がんでなくなる人を減らすために、行政、医療従事者、民間企業等と連携しながら、大腸がん検診の大切さを広く継続的に呼びかける活動を全国各地で行っています。大腸がん検診啓発資材の提供やスマートフォンで見られる大腸がん検診小冊子を公開しています。詳しくは、ホームページ(<http://www.bravecircle.net/>)をご覧ください。

【本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先】 NPO法人ブレイブサークル運営委員会/広報担当:山田、小林

TEL:03-6908-9160 FAX: 03-6908-9150 携帯:080-7526-1487(山田)

E-mail: info@bravecircle.net <http://bravecircle.net>

